

平成 26 年 11 月 13 日

各 位

株 式 会 社 リ ミ ッ ク ス ポ イ ン ト
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 高 田 真 吾
 問 い 合 せ 先 経 営 企 画 室 長 丸 山 智 浩
 (コ ー ド 番 号 : 3 8 2 5)
 電 話 番 号 (0 3) 6 3 0 3 - 0 2 8 0

業績予想と実績値との差異の発生及び営業外費用・特別損失の計上に関するお知らせ

平成 26 年 10 月 15 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、平成 27 年 3 月期第 2 四半期決算におきまして、下記のとおり営業外費用及び特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

I 業績の差異について

1.平成 27 年3月期第2四半期累計期間個別業績予想と実績の差異(平成 26 年4月1日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予測(A)	285	△8	△18	△19	△3.11
今回実績(B)	264	△4	△11	△16	△2.59
増減額(B-A)	△21	4	7	3	
増減率(%)	△7.3	—	—	—	
(ご参考)前年同期実績	28	△45	△55	△49	△10 30

2.差異が生じた理由

当社は、平成 27 年3月期第2四半期累計期間において、営業活動及び販売拡大に注力してまいりましたが、国内外の省エネルギー関連事業の売上が見通しに及ばず、この結果、売上高は 264,640 千円となり、当初予定値を 20,930 千円(対予算比 7.3%減)下回ることとなりました。

一方、損益につきましては、売上高の減少による売上原価の減少のほか、効率的な運営による販売管理費の減少により、営業利益は△4,493 千円となり、当初予算に比べ 4,479 千円の改善となりました。

また、経常利益は借入金減少等により△11,448 千円となり、当初予算に比べ 7,302 千円の改善となりました。

なお、本社移転に伴う固定資産除却損として 1,804 千円、本社移転費用として 1,131 千円、合計 2,935 千円の特別損失を計上いたしました。本件につきましては、下記に記載の通りであります。

これらの結果、当期純利益は△16,119 千円となり、当初予算に比べ 3,107 千円の改善となりました。平成 27 年3月期第2四半期累計期間における業績の詳細につきましては、本日開示いたしました「平成 27 年3月期第2四半期決算短信」に記載の通りであります。

なお、通期の業績予想につきましては、平成 26 年 10 月 15 日付で開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り変更はありません。

II 営業外費用の計上について

1. 営業外費用の内容

平成 27 年3月期第2四半期累計期間におきまして、下記の営業外費用を計上することといたしました。

① 株式交付費 4,654,837 円

平成 26 年9月5日付「第三者割当による新株式発行」の実施に際しての発行所費用として計上いたしました。

② 新株発行費 2,030,000 円

平成 26 年9月5日付「第三者割当による新株予約権発行」の実施に際しての発行諸費用として計上いたしました。

2. 業績に与える影響

平成 27 年3月期業績予想に与える影響につきましては、平成 26 年 10 月 15 日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に織り込んでおります。

III 特別損失の計上について

特別損失の内容

平成 27 年3月期第2四半期累計期間におきまして、本社移転に伴う費用として、特別損失が 2,935 千円を計上することといたしました。

2. 業績に与える影響

平成 27 年3月期業績予想に与える影響につきましては、平成 26 年 10 月 15 日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に織り込んでおります。

以 上